DECOR
SEIKO

取扱説明書

このたびはセイコーデコールをお買い上げいただき、ありがとうございました。
ご使用にあたってはこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご愛用くださいますようお願い申し上げます。
なおこの取扱説明書はお手元に保存し、必要に応じてご覧ください。

特 長

★ 標準電波を受信して現在時刻を表示する電波修正機能付き。

必ずお守りください。 安全上のご注意

 警　告

＜コイン型リチウム電池について＞

(1)充電、ショート、分解、加熱、火に入れるなどしないでください。
この電池は、リチウム、有機溶媒など可燃物質を内蔵しており、発火、発熱、破裂の原因となります。

(2)電池は幼児の手の届かない所に置いてください。万一飲みこんだ場合には、直ちに医師と相談してください。

(3)電池を廃棄する場合および保存する場合には、テープなどで絶縁してください。他の金属や電池とまじると、発火、破裂の原因となります。

＜梱包用ポリ袋について＞

ポリ袋は絶対にかぶらないでください。

 注　意

＜時計の設置場所について＞

落下や転倒により、けがおよび器物を破損する恐れがありますので、振動のある所や、不安定な場所には時計を設置しないでください。

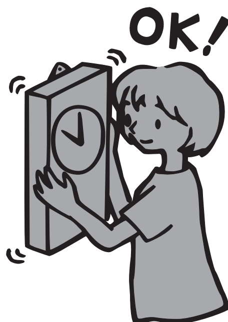
＜掛け方について＞

時計は確実に掛けてください。
落下により、けがおよび器物を破損する恐れがあります。
掛ける場所、壁の材質・構造をご確認の上、この時計の重さに充分耐えられる掛け具を選んでください。ご使用の際は掛け具に同梱の案内文も必ずお読みください。
記載以外の取付面の場合は、建築メーカー等へご相談ください。
※掛け具に時計を掛けた際、時計を上下左右そして手前に軽く動かし、
正しく掛かっていることを確認してください。

木の厚い壁・木の柱に掛けるとき
添付の木ねじをご使用ください。

石膏ボードの壁に掛けるとき
添付の掛金具、釘をご使用ください。

コンクリート等、上記以外の壁・柱に掛けるとき
添付の掛け具は使用しないでください。
市販の掛け具をご使用ください。



⚠ 注　　意

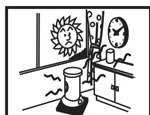
＜電池について＞

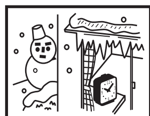
下記のことを必ず守ってください。電池の使い方を間違えますと液もれや破裂のおそれがあり、機器の故障やけがなどの原因となります。

(1)⊕⊖を正しく入れてください。
(2)製品仕様の電池寿命を経過した場合は、時計がまだ動いていてもすべて指定の新電池と交換してください。また、時計を使わないときは電池をすべてはずしてください。電池の一部の交換や、電池を入れたままにしておくと、他の部分の止まりや古い電池からの液漏れ等で時計や、周囲の物を汚したり、傷めたりする恐れがあります。
(3)この電池は充電式ではないので充電すると液もれ、破損のおそれがあります。
(4)電池に直接ハンダ付けしたり、水滴をつけないでください。
(5)直射日光・高温・高湿の場所を避けて保管してください。また使用済みの電池は、速やかに処分または幼児の手の届かないところに保管してください。
(6)時計が動かない等の場合、電池端子が汚れている場合があります。やわらかい布などでクリーニングしてください。
(7)添付の電池は工場出荷時より付けられています。時計の電池寿命は製品仕様の表示より短いことがあります。

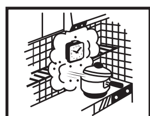
使用場所について

下記のような場所では使わないでください。
機械や電池の品質が確保されなくなり、精度不良や電池切れを起こすことがあります。また本商品は業務用ではありません。


暑い場所（+50℃以上）


寒い場所（−10℃以下）

振動の激しい場所


湿気の多い場所

●温度が＋50℃（50度）以上になる所や直射日光のあたる所。
　例えば、屋外、暖房器具などの熱風や火気に近い所。
●温度が-10℃（氷点下10度）以下になる所。
〔プラスチック部品や電池の劣化が起きることがあります。〕
●塵、埃の多い所。
〔空気中に舞い上がったごみが歯車や接点に挟まって時計が止まったり、音が鳴らなくなることがあります。〕
●大型テレビ・スピーカーのそばや、強い磁気のある所。
〔磁力の影響で進み、遅れを生じたり、時計が止まることがあります。〕
●浴室など湿気の多い所。また、水がかかる所や加湿器の蒸気が直接あたるような所。
●振動のある所。不安定な所。
●工場、台所など多くの油を使用する所。
〔霧状になった油分が機械の歯車等に付着し、時計が止まることがあります。〕
●ビニール系素材の壁や敷物等の上。
　壁や敷物および時計を汚したり傷めることがあります。
●木枠の時計の場合には、空気が非常に乾燥した状態や湿気の多い状態が続くと、枠が傷むことがあります。また、４０度以上の高温になりますと、接合部のフクレやハガレが起きる場合があります。

電波クロックについて

■電波時計／電波修正機能とは

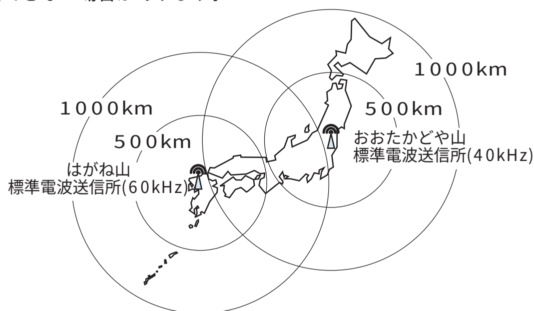
正確な時刻およびカレンダー情報をのせた標準電波を受信することにより、現在時刻を表示する時計です。

■標準電波とは

通信総合研究所が運用している時刻情報をのせた電波で、国内２ヵ所の標準電波送信所からそれぞれ異なる周波数で送信されています。標準電波の時刻情報はおよそ１０万年に１秒の誤差という超高精度を保つ『セシウム原子時計』によるものです。

■電波受信について

各々の送信所からの受信範囲の目安は、条件により異なりますがおおむね１０００ｋｍ～１２００ｋｍです。個別の状況により異なりますが、東日本地域は４０kHz（福島送信所）、西日本地域は６０kHz（九州送信所）の電波がより受信しやすいものと想定されます。この製品は４０kHz，６０kHzのいずれか受信しやすい電波を自動的に選択し受信します。ただし、天候、置き場所、時計の向き、時間帯あるいは地形や建物の影響などによって受信できない場合があります。



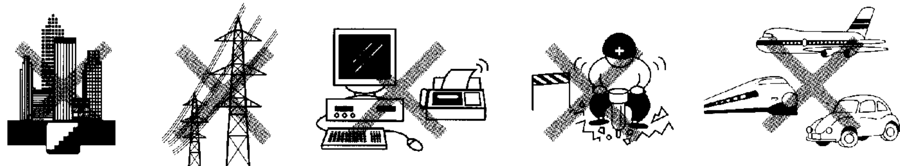
■ご注意

●電波障害等により、誤った受信をした際に、誤った時刻を表示する場合があります。また使用場所・電波状況によっては受信できない事があります。このような時は、場所を変えてお使いください。
●電波を受信できない場合は、内蔵クオーツの精度で計時します。
●標準電波は、毎時15分と45分からの各１分間はコールサインの送信を行うため一部時刻情報の送信を中断します。また設備のメンテナンスや落雷などの影響により停波することがあります。停波に関する情報は、通信総合研究所(CRL)のホームページをご覧になるか、お客様センターにお問い合わせください。
（ホームページアドレス　http://jjy.crl.go.jp）

■使用場所について

本製品は、テレビやラジオと同様に電波を受信するものです。ご使用の際はできるだけ、電波を受けやすい窓際などにおいてください。また、電波ノイズを発生させるものの近くでのご使用は避けてください。その他、次のような環境条件では正確に受信できないことがあります。

●ビルの中、ビルの谷間、地下。
●高圧線、テレビ塔、電車の架線の近く。
●テレビ、冷蔵庫、エアコン、空気清浄機、パソコン、ファクシミリ等の家電製品やＯＡ機器の近く。
●工事現場、空港の近く、軍事基地や交通量の多い所など、電波障害の起きる所。
●乗り物の中（自動車、電車、飛行機など）
●スチール机等の金属製の家具の上や近く。



お手入れについて

長くご愛用いただくために、２・３年に一度の点検・調整(有料)をおすすめいたします。販売店にご相談ください。

●ベンジン、シンナー、アルコール、ミガキ粉、各種ブラシなどは使わないでください。
殺虫剤（さっちゅうざい）、ヘアスプレーなどもかからないようにしてください。変色、傷の恐れがあります。

プラスチック枠の時計の場合

●枠をふくときは、湿（しめ）った、やわらかい布でふいてください。
●よごれがひどいときは、水でうすめた中性洗剤（せんざい）を少量、やわらかい布につけてふき、ふいた後で乾（から）ぶきしてください。

木枠・金属枠の時計の場合

●よごれやほこりをとるときは、やわらかい布で乾（から）ぶきしてください。

※お客様が分解しますと、修正不可能になる場合やけがの恐れがあり大変危険です。また保証の対象外となりますのでご注意ください。

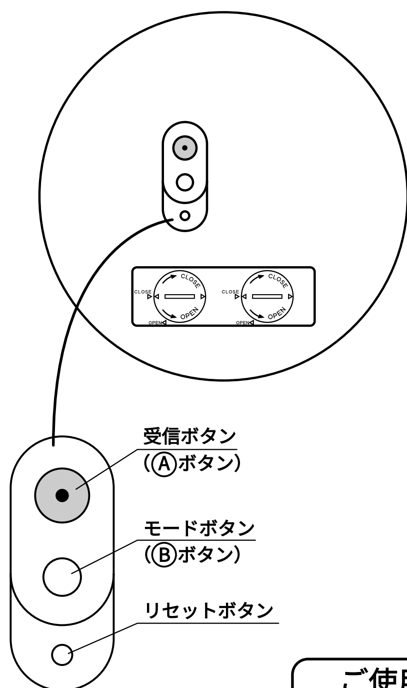
製品仕様 ▶

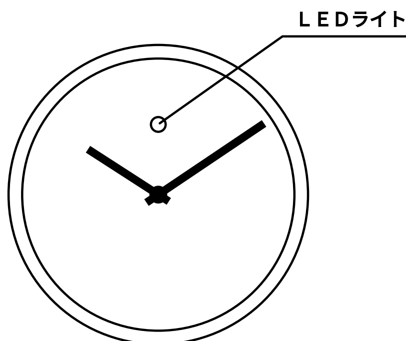
●精　　　　　度：平均月差±２０秒
（電波受信による時刻修正を行なわない場合）
（気温５℃から３５℃で使用した場合）
●表　示　精　度：±１秒（時分針は±３度）
（電波受信による時刻修正を行なった直後）
●使用温度範囲：－１０℃～＋５０℃
●使　用　電　池：コイン型リチウム電池２個
ＳＥＩＫＯ　ＳＢ－Ｔ５３（電池上の表記ＣＲ２４７７）
●電　池　寿　命：約５年
●電波受信機能：自動受信（１日 ８回）
(受信から次の受信まではクオーツの精度で動いています。)
手動受信（強制受信）
※４０kHz，６０kHzのいずれか受信しやすい電波を自動受信します。
●受信結果確認機能：ボタン操作により受信結果をＬＥＤライトで表示
●時刻合せ機能：電波受信による自動セットまたは手動セット

＊上記の製品仕様は改良のため予告なく変更する場合があります。

ご使用方法 ▶ （時計により外観が異なりますが、操作方法は同じです。）

■ 操作部

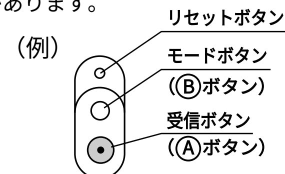




ご注意

時計のデザインによりＬＥＤライト及び電池、ボタンの位置等は異なる場合があります。

（例）



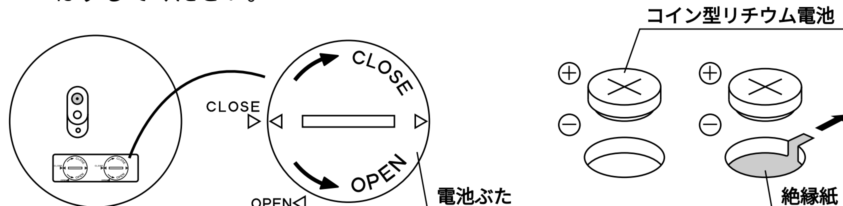
ご使用の前に付属品をご確認ください。

●コイン型リチウム電池２個
●掛け具（①木ねじ１本➡木の厚い壁・木の柱専用
　　　　　②掛金具1個、釘５本（うち１本は予備）➡石膏ボードの壁専用）
●取扱説明書（本書）１枚　　●保証書１枚

■ ご使用方法

１．電池を入れてください
（コイン型リチウム電池（ＣＲ２４７７）　２個）

① コイン状のものを電池ぶたの溝に合わせてＯＰＥＮ(オープン)の方向に回し、電池ぶたをはずしてください。



② ⊕側を上にして電池を入れ、電池ぶたをＣＬＯＳＥ(クローズ)の方向に閉めてください。
（絶縁紙がついている場合は絶縁紙をはずして電池を入れてください。）

２．リセットボタンを押してください

受信を開始し、自動的に現在時刻に合わせます。

●秒針が「１２時の位置」で停止後、時分針が動き出し、下記時刻のいずれかで一時停止し、電波受信を開始します。
（1:50，3:10，5:50，6:10，8:30，9:10，11:10，12:10）

●受信中（最長約２０分間）はＬＥＤライトが信号に応じて点灯します。
（Ｐ７「■受信状態について」をご覧ください。）

●受信に成功した場合

ＬＥＤライトが“緑”で点滅し、自動的に時分針を現在時刻に合わせます。その後「０秒」に合わせて秒針が動き出します。
秒針の位置確認が終わるまでＬＥＤライト点滅が数分間続きます。

●受信できなかった場合

ＬＥＤライト消灯後、ただちに針が動き出します。
このとき時分針の時刻修正は行いません。
Ｐ８「■電波が受信できなかった場合」にしたがって場所を変えて再度受信させるか、手動操作で時分針を現在時刻に合わせてください。

注）**電池交換時は、必ずリセットボタンを押してください。**

３．時計を設置してください

本機を使用したい場所に掛けてください。この際、窓際などできるだけ電波を受信しやすい場所に掛けてください。

その他の機能 ▶

■ 受信状態について

受信中は以下のようにＬＥＤライトの色によって受信状態を表示します。
ただし自動受信中はＬＥＤライトは点灯しません。

ＬＥＤライトの状態	受 信 状 態
“緑”が点灯	電波状態が良く受信可能
“緑”が点灯し、たまに“赤”が点灯	電波状態が比較的良く受信成功の可能性がある
“赤”と“緑”が同じくらいの割合で点灯	電波状態が悪く受信成功の可能性が低い
“赤”が点灯し、たまに“緑”が点灯	電波状態が悪く受信成功の可能性が非常に低い
“赤”が点灯	電波状態が悪く受信不可能

●受信開始時（最長約１０秒間）は必ずＬＥＤライトが“赤”で点灯します。

■ 受信結果について

通常運針中に受信ボタン（Ⓐボタン）を1回押す（２秒以下）と以下のように
ＬＥＤライトの色によって前回の電波受信結果を表示します。

“緑”が点滅：２４時間以内に受信に成功しています。

“赤”が点滅：２４時間以内に一度も受信できていません。

■ 自動受信について

毎日８回、自動で電波受信を行ないます。
受信に成功すると現在表示している時刻を修正します。

●受信中（最長約２０分間）は針が不規則な動きをすることがあります。

秒針：１２時の位置で停止
分針：約３０秒毎に運針

■ 電波が受信できなかった場合

１．電波を強制的に受信して時刻を合わせてください

受信ボタン（Ⓐボタン）を２秒以上押し続けると針が停止し受信を開始します。
受信に要する時間は、最長約２０分間です。

●受信中は、ＬＥＤライトが信号に応じて点灯します。
（Ｐ７「■受信状態について」をご覧ください。）

●受信できなかった場合、針は元の時刻に戻ります。場所を変えてもう一度受信させてください。

●詳しくはＰ３（電波クロックについて）をご覧ください。
また、１日の内で夜間のほうが昼間にくらべて比較的受信状態が良くなりますので、受信できなかった場合でも一昼夜掛けることにより受信できる場合があります。

２．手動で時刻を合わせることができます

電波を受信できない場合は、手動で時刻を合わせることができます。

① モードボタン（Ⓑボタン）を２秒以上押すと、針が停止します。

② 受信ボタン（Ⓐボタン）を１回押すと、分針を１分ずつ送り、押し続けるとボタンを離すまで、送り続けます。

③ モードボタン（Ⓑボタン）を押すと同時に、針が動き出します。

■ 自動受信を止めるには

この時計には下記手順により、自動受信を止める機能があります。
（誤受信の防止や、設定時刻をずらしてお使いになりたい場合などにご使用ください。）

① 受信ボタン（Ⓐボタン）とモードボタン（Ⓑボタン）を同時に押しながら、リセットボタンを一度押してください。

② ＬＥＤライトの“赤”と“緑”が５回同時に点滅したら受信ボタン（Ⓐボタン）とモードボタン（Ⓑボタン）を放してください。

③ 秒針が「１２時の位置」で停止後、時分針が動き出します。

④ 秒針が再び動き出したら、「２．手動で時刻を合わせることができます」にしたがって時刻を合わせてください。

●この機能を設定した後も受信ボタン（Ⓐボタン）を２秒以上押すと強制受信を開始しますが、その後自動受信はしません。

●この機能を解除するには、リセットボタンを押してください。

■ ご注意

●この製品は、日本標準電波仕様ですので、海外で電波修正機能は使用できません。

●電池交換時は、必ずリセットボタンを押してください。

保証・アフターサービス ▶

●保証書の「お買上げ日」、［販売店」の欄が正しく記入されているか確認してください。記入されていないと正規のアフターサービスを行えない場合がありますので、お買い上げの販売店までお申し出ください。

●保証期間内に、取扱説明書に従ったお取扱いにより本製品が万一故障した場合、保証規定に基づきメーカーが無料修理を行います。必ず販売店名捺印の保証書を添えて、お買上の販売店へお申し出ください。
なお**保証書は日本国内のみ有効です。また、修理などのアフターサービスも海外ではできません。**

●保証期間終了後の修理および保証期間中でも、無償修理の対象外となる場合には有料となります。さらに運賃諸掛り等もお客様のご負担でお願い致します。

●修理に際しては、部品およびその他の付属品に一部代替品を使用させていただく場合もありますので、あらかじめご了承ください。

●お買上げ店への持込ができない場合は、当社「お客様センター」にご相談ください。

●本製品の修理用部品（製品の機能を維持するために不可欠な時計本体の部品を指します）は７年間保有されます。また長期間のご使用にあたっての万一の不具合について修理等のご相談を承る、デコール専用の制度を設けております。

●修理可能な期間や内容は、ご使用条件により異なります。修理可能な場合にも元通りの精度や外観にならない場合があります。

●保証・アフターサービスについてのご不明点は当社お客様センターにお問い合わせください。

故障かな？と思ったときには ▶

製品が正常に作動しないときは、修理を依頼する前に、この表を参考にお調べください。なお電池は買い置き品でなく、新規購入品をご使用ください。

症　状	考えられる原因	処　置
針が動かない	・電池が入っていない。 ・電池が正しい向きで入っていない。	・指定の新しい電池を、電池の向きを確かめて入れてください。
	・電池端子や接片が汚れている。	・電池端子や接片の表面を拭いてください。また、電池を入れて２～３回まわしてください。
	・静電気などによりマイコンが誤作動している。	・リセットボタンを押してください。
	・強制受信中または時刻修正中である。	・受信終了後、通常の運針に戻ります。
針が不規則に動く	・強制受信中または時刻修正中である。	・受信終了後、通常の運針に戻ります。
スイッチ操作が効かない	・受信に成功し、時刻修正中である。 ・リセット後、受信動作中である。	・時刻修正動作が終了してから、再度スイッチ操作をしてください。
時刻が合っていない	・受信が成功していない。	・「■電波が受信できなかった場合」をお読みになり、再度受信させてください。
	・電池が古くなっている。	・指定の新しい電池を、電池の向きを確かめて入れてください。
	・きちんとリセットされていない。	・確実にリセットボタンを押してください。

本製品、ならびにアフターサービスなどにつきましてご不明なことがございましたら、製品本体の裏面または底面に表示してあります製品番号(品番)をご確認のうえ、お買上店または、セイコークロック(株)お客様センターにお問い合わせください。
（例：ＡＭ○○○、ＰＷ○○○、ＫＧ○○○など）

フリーダイヤル
お客様センター  0120-315-474

http://www.seiko-clock.co.jp

発売元
セイコークロック株式会社

Printed in Japan Ⓖ

説明書番号　ZAS-014N-J